

お客さまから教えてもらった美術缶の可能性



はじめまして、**カンカンマン**です。

こんにちは！

僕の名前は菓子缶ヒーロー **カンカンマン**と言います。ふざけた名前と格好ですが、中身は至って真剣です！

さてさて、僕の働く会社では日々、お菓子の缶をつくっていますが、このお菓子の缶は別名、美術缶とも呼ばれる外観に特長を持つモノです。

様々な お菓子メーカーさんのブランドイメージを形状やデザインで表現した個性あふれる缶が多く、その意匠性でお菓子の価値を高めて商品の販売促進のお手伝いをしています。

『中身に合わせた商品価値を上げるモノ』それが美術缶のチカラだと思っていました…。

僕たちの会社では自分たちでデザインした既製缶を販売する仕事もしているのですが、

ある時、そのお客さまからの一言で“意識”が変わりました。

『**カワイイ缶に一目惚れして缶に合うお菓子を創ろうと試行錯誤して、先日やっとそのお菓子が完成しました**』

“缶は中身ありきで存在するモノ” どこかそのような固定概念を持っていた僕たちにお客さまから**“美術缶の可能性”**を教えてもらった気がしました。

『**僕たちのつくった缶が新しいお菓子を生み出すきっかけになりました**』

『**そして・・・多くの人たちの笑顔に出会える**』

小さな出来事に思えるかも知れませんが、その出来事は僕たち缶づくりに携わる者に大きな勇気を与えてくれました。

缶には僕たちの想像もしない可能性がまだまだ眠っている！そしてその可能性を見つけた時、缶を中心にたくさんの笑顔が生まれるはずです。そんな素晴らしい缶の可能性を追い求め、創り続けていくことが缶というモノづくりに携わる僕の使命だと思います。



協力/大阪製罐(株)

平成26年4月1日

一般缶の良さ・楽しさを発信します
全日本一般缶工業団体連合会 優CANレポート 第41号